

あなたの声を町政に!!

# ゆざわまち

議 会 だ よ り

平成23年

第103号

10月30日  
発行



臨時議会 7/6 第5回定例会 9/6～9/20

CONTENTS

平成22年度決算	2
決算審査特別委員会	4
決算審査報告	6
町長行政報告／議長挨拶	8
一般会計補正予算／議会活動日誌	9
常任委員会報告	10
一般質問	14
全員協議会	24
議員表決結果報告	26
視察報告／議会に一言	27

### 伊米神社 (いめじんじや／三俣)

苗場山の里宮。祭神は九柱。御神体は二柱の神で農耕と山の神を意味し、俗に十二様と呼ばれる祭日もそれにちなんで伊米神社の例祭は7月11日・12日である。



### 神輿の由来

製作 文化4年(1807年)、200年経過  
製作者 京都 神輿師 竹内平四郎



歳出

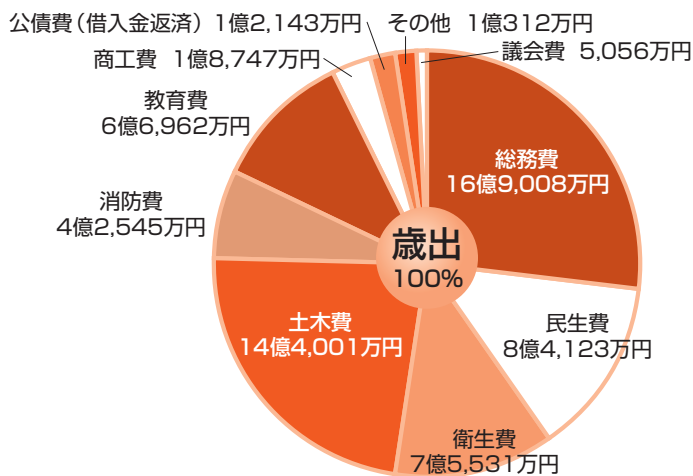
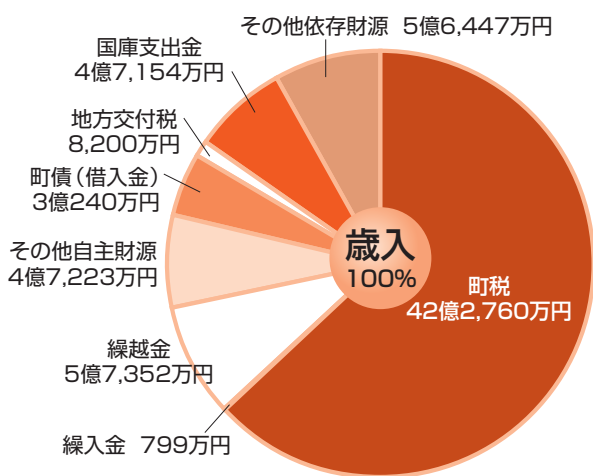
一般会計 62億8,428万円

総額 91億6,164万円 (水道・病院事業会計を除く)

平成22年度 決算状況

会計区分	一般会計	特別会計	一般会計						企業会計			
			国保	老保	後期	介護	下水	水道事業	病院事業			
歳入	67億 175万円	29億 5,608万円	10億 6,369万円	11万円	7,955万円	7億 5,263万円	10億 6,010万円	収益的	収入	3億 6,342万円	1億 1,007万円	
									支出	3億 6,553万円	1億 6,813万円	
歳出	62億 8,428万円	28億 7,736万円	10億 2,692万円	11万円	7,953万円	7億 3,718万円	10億 3,362万円	資本的	収入	2,093万円	1億 1,030万円	
									支出	1億 9,748万円	1億 2,206万円	

一般会計決算の状況 (自主財源:78.8% 依存財源:21.2%)



平成22年度末の地方債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)残高	11億6,366万円	町民1人当たり 14万円
基金(貯金)残高	33億8,993万円	町民1人当たり 41万円

人口:8,264人(平成23年3月末)

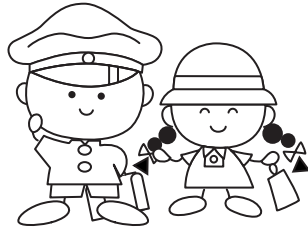
**用語解説**  
 総務費: 町の事務管理、町所有の土地や建物の維持管理、防災交通安全対策などの経費  
 民生費: 児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉など社会保障関係の経費  
 衛生費: 各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理対策などの経費  
 商工費: 商工業や観光の振興のための経費

平成22年度

# 気になる事業

## 子ども手当

児童手当  
633人  
子ども手当  
962人(中学生含む)



子ども手当

**1億1,284万円**

児童手当

**850万円**

## インフルエンザ 予防接種



**496万円**

## 子宮頸がん 予防ワクチン 接種金額助成



**747万円**

## 斎場 建設費 負担金



**9,698万円** (平成22年度分)

## 南魚沼消防署 建設費負担金



**7,205万円** (平成22年度分)

## インバウンド 促進事業

(中国等観光客・  
誘致宣伝活動費)



**401万円**

## 21年度からの繰越した事業の中から

- 浅貝テレビ共同受信施設地デジ改修 7,845万円
- 子ども手当システム導入 346万円
- 防災行政用無線整備 1,333万円



平成22年度（一般会計・特別会計・企業会計）

# 決算審査特別委員会

平成22年度決算について、9月12日から9月15日まで、担当課より説明を聞き集中的に審査しました。

委員長 関 忠夫

## 総務課

**問** 国調速報で、人口は前回より3000人近く減少したが、逆に世帯は2300増えている。この現象をどのように推定するか。

**答** 世帯を分けた核家族が多くなったこと、マンションの1人暮らしが増えていることが要因。今回郵送できるようになり、マンションの実体明らかにになった。

**問** 防災計画の見直しについて、柏崎原発を踏まえた計画を検討することはどうか。

**答** 新潟県も見直しを表明している。それを見て、町もあせらないで検討したい。

**問** 防災行政無線の性能、機能を教えて頂きたい。

**答** 9月3・4日の水害後

に浅貝地区で使用した。三国トンネル付近からも通信ができた。台数は30数台ある。

**問** 苗場・二居・三俣の生徒のバスダイヤ改正に努めてもらいたいがどうか。

**答** 話は聞いていたので、バス会社と相談していきたい。

## 教育課

**問** 川上四郎作品デジタルデータ化の目的、意味は何か。

**答** 川上作品105点、良寛作品23点119点の原画が劣化しないよう川上家と協議してデジタル化した。データの所有権は川上家と湯沢町の双方にある。

**問** 総合型スポーツクラブ設立準備委員会の実態はどのようなものか。

**答** 22年7月に創設。24年2月にスポーツクラブの設立を目指している。組織のメン

**問** 川上作品自体は誰が持っているか。

**答** 川上家の委託を受け、湯沢町が預かっている作品は96点である。

**問** 民俗資料館の現状を見た上で、25年度に指定管理者とすることへの展望は。

**答** 方向は指定管理者となつている。それに向けバリアフリー化を図り、条件を整えたい。

## 健康福祉課

**問** 国保税の収納状況について、今年8月頃の現状は。

**答** 非常に厳しい状況。8月末現在で前年度から4%程度落ちている。

## 地域整備課

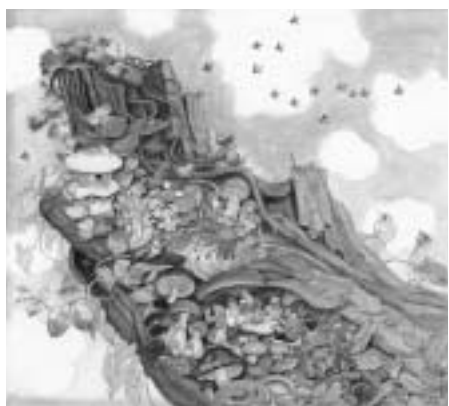
**問** 町道の草刈りでガードレールまで草が茂るところがある。草刈り範囲の基準は。

**問** 先の水害で浅貝川の応急措置は行ったが、本格的な復旧工事を要望したい。

**答** 町道以外の部分について、町内で出来るところは町内で行うようお願いしたい。

**答** 浅貝川の設計は湯沢砂防で行っている。要望は湯沢砂防に伝える。

▶川上四郎作品「きのこの村」



▲湯沢町歴史民俗資料館 雪国館



税務課

**問** 厳しい経済状況の中、徴収率は維持している。その要因をどう分析しているか。

**答** 何とか現状維持だが、22年度滞繰分が若干落ちている、悪いという自覚だ。今年度も大震災の影響で悪化が予想される。

**問** 固定資産の評価委託先は。

**答** 土地については不動産鑑

定士より専門的な評価をお願いすることとなる。その他これまでの固定資産評価を管理している会社と随意契約を締結する。

**問** 固定資産税が高い。見直して人口が減らないように対応するべきだがどうか。

**答** 土地は市場価格だが、家屋は再建築価格で評価を行うので税額が下がりにくい。

会計管理者兼町民課

**問** ごみ袋の分別が大変だ。リサイクル処理の実際について広報が必要なのは。

**答** 袋の種類が多くなってきたが大変だが、広報も充実したい。

**問** 保育料の滞納がある。徴収にはどう対応するか。

**答** 督促して納付をお願いしているが、法改正で子ども

手当を充当しても良いことになった。この部分は税務課と連携している。

**問** 衛生組合との今後の関わりは。受け皿はあるか。

**答** 衛生組合は23年3月に解散することが決まった。カレンダーの配布等は町内会にお願いし、補助事業等は町で継続する。また環境指導員協議会を設ける。

産業観光課

**問** 旭原花の郷は結果が出ていない。土地改良調査をしたことがあるか。また管理を委託するときの指示はあるのか。

**答** 土に関して調査をしたことはない。管理植栽時に立会い指導したい。

**問** 国土調査について、三俣地区と中学校付近の進捗状況は。

**答** 三俣は震災のために遅れている。堰場の中学校付近は10月頃から始めたい。

**問** 監査意見書の中で「随意契約の根拠が曖昧であり、厳格な契約事務を」とある。2年連続の指摘である。契約事務に関する職員の指導はどうだったのか。

**答** 契約事務は、町の根幹と考えている。下まで行きわたっていないようなので、再度厳しく指導したい。また契約事務の説明はきちんと受けたい。

町長への総括質疑

**答** 中国に行くことを通して良く見ていただきたい。他の所も次はインド、ベトナム、ミャンマー、韓国など、みんなから良く見ていただきたい。

**問** 財政健全化判断比率は県下でも3本の指に入る。湯沢の実態をどう考えるか。

**答** 不交付団体が続くよう願っているが、観光が落ちてきて、税収も伸びない。財政担当は数年で交付団体になると見込んでいるが、そうならないように努力したい。



▲旭原 花の郷 看板



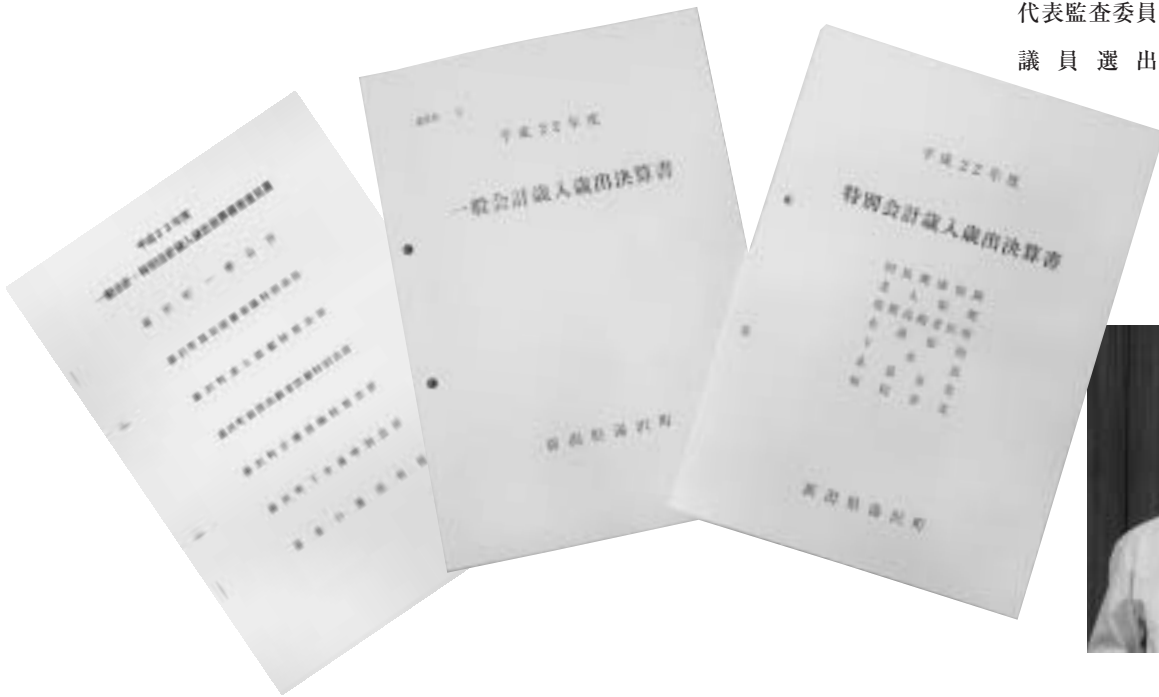
(議会中 撮影:岸野議員)

平成22年度

# 決算審査報告

監査委員より平成22年度の一般会計、特別会計、及び企業会計の決算審査結果と審査意見の報告を受けました。

代表監査委員 腰越 健一  
議員選出 宮田真理子



## 決算審査の結果

**【一般会計・特別会計】**  
(特別会計は国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療・介護保険・下水道の5会計です。)

各会計の歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、また数値も帳票と符合し概ね適正であると認めました。また、土地・建物等財産の現在高及び基金の運用状況についても適正であると認めました。

**【企業会計】**  
(水道事業・病院事業の2事業会計です。)

両事業の決算書及び関係書類ともに法令に基づいて作成され、経営成績及び財政状況を適正に示しており、概ね適正であると認めました。

## 審査意見

**【一般会計・特別会計】**  
一般会計は実質収支4億1千7百万円の黒字決算でした。

なお、一般会計から特別会計、企業会計に10億2千万円の繰り出しがされています。

財政の健全性などを示す各指標はいずれも県平均を上回っており、数値上は健全財政が維持されていますが、高齢化の進行や景気低迷などにより町税収入が減少する一方、福祉関連経費の増加や公共施設の老朽化などに伴う大幅な支出増加が予想されます。

事業内容の抜本的な見直しや、さらなる経常経費削減など歳出の削減に努め健全財政を堅持するようお願いしました。また、事務事業の執行について次の通り意見を付しました。

● **事務事業の見直しについて**  
長年漫然と継続しているような事業はないか、事業内容の見直しを行ってください。

● **契約事務について**  
安易に随意契約することなく、財務規則(原則は競争入札)を遵守し経済性・透明性を確保してください。

● **備品管理について**  
備品の現在高を把握し適正に管理してください。など

特別会計は各会計とも一般会計からの多額の繰入により運営されていることから、引き続き経費節減に努めるようお願いしました。

特に下水道会計については、多額の借入金がある一方、水洗化率が伸び悩んでいることから、下水道未接続者への指導を徹底するようお願いしました。

【企業会計】

水道事業会計には一般会計から1千9百万円が繰り入れられましたが、2百万円の純損失となりました。給水量の減少により料金収入が減少する一方、施設の老朽化による修繕費などがかさみ、更新が必要な箇所も増えています。

病院事業会計には一般会計から1億2千万円の繰り入れがされています。当年度末処理欠損金は4億1千7百万円に増加しました。

この事業は指定管理者によって運営されており、医業収益はすべて指定管理者に収受されるため一般会計からの繰り入れに頼らざるを得ませんが、町民の健康を守るうえは止むを得ないものと思われまます。「地域に信頼される病院」として継続するよう、今後も安定経営に努めるようお願いしました。

両会計とも経常経費などの削減に努め、健全財

政を堅持するようお願いしました。

【町税などの滞納について】

全会計で総額15億6千万円あまりの滞納と、1億1千万円の不能欠損(回収不能)がありました。

昨今の厳しい経済状況の折り、大多数の町民が必死の思いで納税してい

る中で、このような状況が続くと納税意欲の低下や行政不信を招く恐れも心配されます。

町民負担の公平性を確保する上からも、更なる徴収努力を行い町民の信頼と安定財源の確保を図るようお願いしました。

【別表】 滞納・不能欠損の状況 (千円)

	滞 納 額	不能欠損額
町 民 税	60,310	2,860
固 定 資 産 税	1,261,832	97,783
町有地貸付料	29,234	0
国民健康保険税	83,154	3,463
下水道使用料等	36,572	340
水 道 料	70,440	3,864 (漏水減免含む)
そ の 他	19,061	1,882
合 計	1,560,603	110,192



不能欠損：何らかの理由で徴収が行えず、その徴収を諦めること。



## 町長行政報告



水稲の作況概要については、今年も雪消えが遅くなり春作業が遅れたものの田植えはほぼ平年通り行われました。田植え後の6月の天候も例年並で、7、8月は気温が高く生育はおおむね順調に推移し、7月末の水害の被害もほとんどなかったことから生育状況は平年並みとなっております。作柄も「平年並み」となるとの予測です。8月末現在で取りまとめた今年の主要観光施設の入込状況は、東日本大震災の影響で第1四半期（4～6月）の入込状況は、対前年比で大幅な減少となっておりましたが、第2四半期（7・8月）は、経済復興対策として実施している夏季誘客広報宣伝の効果もあり、

アルプの里や宿泊施設の入込状況は比較的好調に推移しております。

今年で第13回目を迎えた日本最大級の音楽イベントのフジロックフェスティバルが、7月29日から7月31日の3日間、苗場スキー場を会場として開催されました。新潟福島豪雨の中での開催となり、昨年より1万人少ない11万5,000人の来場者となりました。

新潟県から放射線量測定器を借用し、町内全域にわたり放射線量の測定しております。その結果は町のホームページで公表しております。

私と議会議長、総務文教常任委員長及び中学2・3年生の生徒の皆さんと一緒にユタ州マグナを訪問し、生徒のホームステイとソルトレック郡長や関係者の皆さんと意見交換を行い、親睦を深めてまいりました。今後、姉妹都市の締結を行う方向でマグナ側と協議を行ってまいります。

昨年度、文教施設整備委員会

で取りまとめたいただいた「湯沢町統合文教施設検討結果報告書」を基に、去る7月に「湯沢町統合文教施設基本計画」を公表いたしました。その後、この基本計画に対するパブリックコメントを、7月11日から8月9日までの30日間実施し、24名の皆様から54件のご意見を頂戴いたしました。

8月14日、湯沢町成人式が公民館において挙行されました。新成人は89名であり、そのうち69名の皆様が参加されました。来賓の祝辞を真摯に傾聴する態度は、責任ある行動が期待される新成人として相応しいものであります。



江蘇省人民対外友好協会 除龍副会長

## 議長挨拶



議会議長 田村正幸

秋も深まる今日この頃皆様にはお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。5月に議長に就任いたしました田村正幸です。一言ご挨拶を申し上げます。

3月11日の東日本大震災では多くの方々が犠牲になりました。9月の台風12号・15号でも多大な被害が出ました。犠牲者・被災者・被災地に心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。一日も早い復興に応援してゆきたいと思っております。

です。議員がそれぞれの特性を生かして町民負託に因應するために精進いたします。被災地や社会的弱者への支援を行うためにも町の経済がしっかりとしていなければなりません。湯沢町は観光立町です。多くのお客様に来ていただくために、訪れていただいた方から有難うと仰っていただければ観光地を目指して、建設的な議論を行い、町・議会・町民が協力して参りましょう。皆様のご健勝をご祈念して挨拶いたします。

4月の改選で新たに12人の議員が選出されました。町民から信頼される開かれた議会を目指すことを約束致しました。12人の議員に気軽に声をかけてください。それぞれの世代の声を町政に生かすのが私たちの役目



湯沢町観光協会宣伝業務補助金..... 5,173万円増  
 公共土木施設災害復旧費..... 6,200万円増

1億2,538万円を追加 総額67億3,329万円

# 一般会計補正予算

9月6日、一般会計補正予算  
 審査特別委員会を開催  
 賛成全員で可決

歳出(支出)の主な項目		
情報化推進費	旧総合行政システム関連機器撤去	981万円減
介護保険事業費	介護保険特別会計繰出金	850万円増
塵芥処理費	可燃ごみ処理	1,485万円減
	不燃ごみ処理	543万円減
観光費	湯沢町観光協会宣伝業務補助金	5,173万円増
道路新設改良費	歩道・道路改良	750万円増
一般住宅改修支援費	住宅リフォーム支援事業補助金	500万円増
消防総務費	消防業務	1,454万円減
公共土木施設災害復旧費	護岸復旧	6,200万円増

歳入(収入)	
国庫支出金	4,579万円増
県支出金	603万円増
繰入金	5,877万円減
繰越金	1億261万円増
諸収入	862万円増
町債	2,060万円増

H23.9.6 現在

## 主な質疑

**問** 湯沢町観光協会宣伝業務補助金に5,000万円を超える予算が計上されているが。

**答** 当初予算で2,600万円余りを計上したが、震災での湯沢町観光業復興のため、これまで春季、夏季と各メディアにPR。これからも秋季、冬季とPR活動、イベントの開催。それら補正金額合計で5,173万円となった。

**問** 公衆浴場で指定管理料を計上、公衆浴場以外でも赤字になったときに考えてもらえるのか。

**答** 施設ごとに個別に考える。

**問** 観光協会が法人化された。これを機会とし、宣伝業務をすべて観光協会に渡したのか。

**答** 今年は、災害の関係で大規模なプロモーションなどで、一緒にやっていきたい。

**問** 花の郷運営費は規模を縮小した影響で観光目的のイメージとは離れている。

**答** 経費の面で道路わきに集中している。花の郷は継続していく考えで、草刈りや見目の向上を図っていく。

**問** 駅前トイレの修繕、これに伴い防犯施設を設置する意向はあるか。

**答** どうしたら安く、安全管理ができるか検討する。

## 議会活動日誌(主なもの)

- 6月
  - 21日 / 第10回議会広報常任委員会
  - 22日 / 三俣道の駅整備事業全体説明会
  - 28・29日 / 被災地(東北)視察研修
- 7月
  - 6日 / 第4回臨時議会
  - 14日 / 第7回産業建設常任委員会
  - 25日 / 第5回総務文教常任委員会
  - 26日 / 町村議会広報研修会
- 8月
  - 1日 / 南魚沼市・湯沢町議長・副議長会
  - 2日 / 「地域とともにある学校づくり」制度等活用説明会
  - 4日・9日 / 米国ユタ州マグナ訪問交流
  - 8日 / 第4回厚生福祉常任委員会
  - 12日 / 消防新庁舎見学会
  - 12日 / 湯沢町経済復興対策委員会
  - 14日 / 湯沢町成人式
  - 18日 / 広報常任委員会勉強会
  - 24日 / 京都府久御山町行政視察
  - 29日 / 後期高齢者医療広域連合議会
  - 30日 / 県町村議会議長第2回臨時総会
  - 30日 / 湯沢町戦没者慰霊祭
- 9月
  - 2日 / 第6回議会運営委員会
  - 2日 / 第13回議会広報常任委員会
  - 3日 / 湯沢中学校体育祭
  - 6日・20日 / 第5回定例会
  - 9日 / 敬老会
  - 10日 / 町民ゲートボール大会
  - 11日 / 湯沢町秋季消防演習
  - 28日 / 国道353号県境開設促進協議会総会(群馬県中之条町)
  - 28日 / 中国駐新潟総領事館国慶節祝賀会(新潟市)
  - 30日 / 第14回議会広報常任委員会
  - 30日 / JR東日本全体会議

# 総務文教常任委員会報告

平成23年9月7日  
委員長 今村 定一

開会中の

## 常任委員会報告

### 付議事件

事件の番号	件名	結果
議案第40号	湯沢町税条例等の一部を改正する条例の制定について	賛成全員で採択すべきものと決定
議案第41号	湯沢町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で採択すべきものと決定
議案第42号	湯沢町学校給食施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	賛成全員で採択すべきものと決定
陳情第2号	拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書採択の陳情について	賛成全員で採択すべきものと決定
陳情第3号	私立高校生が学費を心配せずに学べるように学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情について	賛成多数で採択すべきものと決定
請願第5号	「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことを求める請願について	賛成多数で採択すべきものと決定
請願第6号	自然エネルギーの開発と普及プログラムを決めた原発から撤退を求める意見書提出に関する請願について	賛成全員で採択すべきものと決定
請願第7号	「郵政改革法案」の早期成立に関する請願について	賛成全員で採択すべきものと決定

#### 議案第40号 湯沢町税条例等の一部を改正する条例の制定について

\*不申告に関する過料の追加と罰則金の変更

- ・たばこ税の不申告・特別土地保有税の不申告
- ・現行3万円以下を10万円以下に変更

\*寄付金税額控除の変更

- ・現行5千円以上から2千円以上からに下げた変更等

#### 総務文教常任委員会

委員長 今村 定一  
副委員長 高橋 綾夫  
委員 角谷 勉  
宮田真理子  
南雲 正  
佐藤 守正  
師田 保

#### 議案第41号 湯沢町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

補助金申請等において学校名や所在地を決めておく必要がある。

- \*小学校の校名を、湯沢小学校に統一
- \*所在地を、湯沢中学校と同じ地名地番に(大字神立1580番地)
  - ・「湯沢」の名を使用することで小中一貫教育の観点から名称上中学校との整合性が図られる。



常任委員会：本会議に付すべき議案をあらかじめ審査する為に設置される委員会。

# 厚生福祉常任委員会報告

平成23年9月7日  
委員長 佐藤 守 正

## 付議事件

事件の番号	件 名	結 果
議案第44号	平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成で可決すべきものと決定
議案第45号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成で可決すべきものと決定
議案第46号	平成23年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成で可決すべきものと決定

**議案第44号 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について**  
歳入歳出予算にそれぞれ204万9千円を増額し、それぞれ10億5830万6千円とする。

**議案第45号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について**  
歳入歳出予算にそれぞれ137万2千円を増額し、それぞれ8385万2千円とする。  
これは賦課保険料が7月1日に確定したことに伴って当初予算を補正するもの。

**議案第46号 平成23年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について**  
歳入歳出予算にそれぞれ1448万6千円を増額し、それぞれ7億4456万4千円とする。  
これは賦課保険料が7月1日に確定したことに伴って当初予算を補正するもの。

### 厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤 守正  
副委員長 宮田真理子  
委員 岸野 雅人  
白井 孝雄  
関 忠夫  
今村 定一  
半澤 利貞

# 産業建設常任委員会報告

平成23年9月6日  
委員長 南 雲 正

## 付議事件

事件の番号	件 名	結 果
議案第47号	平成23年度下水道特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員で可決すべきものと決定
議案第48号	平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員で可決すべきものと決定

**議案第47号 平成23年度下水道特別会計補正予算(第1号)について**  
1,357万7千円を追加し、総額を10億5,177万6千円とする。

歳入では繰越金1,647万6千円の増、繰入金300万円の減が主なもの。

歳出には新総合行政システム導入に係る新料金システム導入費416万1千円、管渠修繕費340万円、処理場修繕費351万5千円、汚泥処理費190万円、汚泥放射性物質測定関係費46万2千円が計上された。

### 主な質疑

**問** 汚泥の放射性物質の測定結果は。

**答** 湯沢処理場で6月、8月に2回、土樽松川、浅貝処理場で8月に1回測定したが、いずれも基準値以下であり汚泥搬入先への搬入に問題はなかった。

**議案第48号 平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)について**

収益的支出の営業費用を232万6千円増額して、総額を3億6,844万2千円。

資本的支出の建設改良費を40万円増額して総額を2億5,178万1千円。要因は7月末水害による水源修繕費100万円、新料金システム導入費132万6千円、検針時の機器購入費40万円の計上である。

### 主な質疑

**問** 水源における放射性物質の検査結果は。

**答** 毎週1回取水して検査を受けているが、今まで放射性物質が検出されたことはない。

### 産業建設常任委員会

委員長 南雲 正  
副委員長 岸野 雅人  
委員 高橋 綾夫  
角谷 勉  
白井 孝雄  
関 忠夫  
半澤 利貞  
師田 保

# 常任委員会報告

## 閉会中の調査

### 総務文教常任委員会

7月25日

平成23年度課税状況と収納状況について

課税状況：6月末調定

23年度一般会計合計額も前年同月対比8、280万円減

収納状況：前年同月対比で0.2～3.4%一般会計全体で0.5%の低下が現況。

収納に於いては取れるものは取るという姿勢で臨んでいる。

#### 主な質疑

**問** 現況の予算確保の見通しは

**答** 確実に減って、マイナス想定も考慮する。

**問** 滞納増を懸念。

**答** 震災の影響は、不安材料としてある。

#### 平成23年度「保育計画」

保育の待機児童はいません。保育士は臨時（パート）職員で補っている。

子育て支援も重要視。

#### 主な質疑

**問** 一時保育が昨年比3倍の要因は。

**答** 震災で避難者の利用増。

**問** 職員に過重な負担、職員からの苦情等の声は。

**答** 直接は無い。正規職員の配置を望む声は聞いている。

#### 「環境基本計画」の策定について

環境基本条例制定に基づいて、中堅職員を中心に素案作りをし、審議された環境基本計画案。町民アンケートも実施。

#### 主な質疑

**問** バイオマスタウン構想での生ごみ処理、燃料化と堆肥化の矛盾点の対応。

**答** 環境基本計画が総論ならバイオマスタウン構想は各論である認識。

**問** 行政分野に影響を与える環境基本計画の力を各分野で示す事が出来るか。

**答** 町の施策全体に配慮。

#### 平成23年度湯沢町「教育計画」

「湯沢の教育」の基本的姿勢は例年と変わらない。新たな「教育課題」として

- (1) 学力・体力の向上
- (2) 系統的・継続的な指導と校種間の連携
- (3) 学校・家庭・地域の協働

この3点を統合に向けて全校の共通課題として取り組む。重点目標は、生きる力を支える「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の調和を取れた育成を目指す。

#### 主な質疑

**問** 学力の水準、先生方の指導力は。

**答** 勉強会を立ち上げ、取り組んでいる。

**問** 統合に向けた教師全体の取組は。

**答** 24年度中には細部にわたったカリキュラムを作り上げたい。

#### 平成23年度湯沢町「生涯学習計画と文化振興」

本年度の変化は26年に開

校する学校への取組支援。高校総体登山競技の準備。

#### 主な質疑

**問** 成人式申込が26人。大変寂しいが。

**答** 今後増える。運営上問題は無い。二部は実行委員会の企画。

**問** 童画展の在り方は、民間活力を生かした開催組織にするべきと考えるが。

**答** 運営委員会からも指摘されている。方策を示したい。

#### スキー場の町有地等貸付

現在の貸付状況は9社、収納金額（滞納分除く）4、667万9574円。

7月22日に町スキー場振興協議会より借地料減額要望書を提出。内容は減額要望。町として協議をする。

問題点は、加山キャブテンコーストがスキー場の廃止。貸地料271万5、600円が滞納。神立高原スキー場経営分の滞納は未解決。

#### 厚生福祉常任委員会

8月8日

#### 国民健康保険（後期高齢者医療保険）の財政構造

国保財政の収入は、被保険者から集める国保税等50%、国庫負担金34%、国からの調整交付金9%、県からの調整交付金7%で成り立っている。

収納率は下がり続けて、平成22年度は90・55%。

#### 主な質疑

**問** 低所得者に対する軽減で不足する分はどこで補填するのか。

**答** 県が3/4、町が1/4。

**問** 全国平均の被保険者一人当たりの所得額が95・6万円、湯沢町の所得額はいくらか。

**答** 57・5万円程。

#### 今年度の国保会計の見通し

町民所得が減っている、税収の不足が生ずるが、繰越金から2、100万円を繰入れ、基金から1、987万円を取り崩す。

#### 非自発的失業者に対する国保税の軽減の実績

職があったときの所得の3割を基礎に保険税を算出する。今のところ22名が適用を受けている。







**産業建設常任委員会**

7月14日

**雪国観光圏の事業展開についての調査**

雪国観光圏は3県7市町村で構成され、平成20年10月観光庁発足と同時に認定された。主な事業は観光の地域づくり、共同プロモーション、インバウンド誘致と受入体制整備、企業との協働事業、着型旅行商品造成販売等に取り組み、トップランナーとして、関係方面から高い評価を受けている。

平成23年度からは、着型旅行商品の造成販売を行う組織づくり(観光地域づくりプラットフォーム)の支援に変わり、プラットフォーム第1号として雪国観光舎を設立し、着地型旅行商品を扱う旅行者者として事業を開始している。

**○雪国観光圏事務局**

構成する7市町村を束ね「広域」と異業種」の枠組みで連携を促進しながら「地域のブランド価値を創造」する。

**○雪国観光舎**

旅行商品の開発、お客様向けのビジネスを展開する事業実施者として、事業者と事業者を結びつけて事業を企画し、雪国観光圏の顧客

の利便性と価値を提供する旅行会社である。

会員による観光協会からお客様のための旅行案内所へ、お客様への価値創造への実現をはかり、観光立町として生き残る方策であり、旅館組合と雪国観光舎が一体として進められている。

**委員からの質疑、意見**

- ・温度差、標高差による季節感の違いなど素晴らしい素材がある。その検証を。
- ・事務局、観光舎の人員体制は充分か。
- ・緊急雇用対策費の終了後の体制は。
- ・母体が湯沢温泉商業協同組合であるが、湯沢町観光協会の法人化を受けて母体を観光協会に移管することが必要ではないか。

等多くの質疑、意見が出された。

**湯沢町観光協会法人化についての調査**

「法人化についてプロジェクトチームを設け、最重要課題として広範囲な議論と対策を検討する。」ことが、平成22年6月の観光協会総会において承認。

観光協会の総務委員会(会長・副会長・専務理事・常務理事・事務局)で法人化検討委員会をつくり検討、6月の定期総会で一般社団法人湯沢町観光協会設立並びに具体的手続きに向けての準備作業が承認された。

**○湯沢町観光協会法人化の概要**

- ・名称 一般社団法人 湯沢町観光協会
- ・目的 湯沢町における観光事業の振興を図り、地域経済及び地域文化の発展並びに公共の福祉に寄与することを目的とする。
- ・理事 各地区選出理事
- ・常務理事 現行の総務委員会メンバー

**○設立総会**

平成23年9月上旬

**○設立後の検討課題**

- ・旅行業登録 第3種旅行業取得
- ・収益事業 宿泊斡旋紹介事業、広告取扱事業、受託事業、物販事業
- ・インフォメーション事業

緊急雇用創出事業による臨時職員として採用されているが、この制度が平成23年度を持って終了する。関係機関と協議を進め対策をとる必要がある。

一

般

質

問



9月の定例会では、9人の議員より一般質問が行われ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。  
質問と答弁を要約した内容は15ページから23ページです。  
紙面の都合上、掲載されていない項目がありますのでご了承願います。

- ◆南雲 正(15ページ)
- ◆高橋 綾夫(16ページ)
- ◆角谷 勉(17ページ)
- ◆白井 孝雄(18ページ)
- ◆半澤 利貞(19ページ)

- ◆佐藤 守正(20ページ)
- ◆岸野 雅人(21ページ)
- ◆師田 保(22ページ)
- ◆宮田真理子(23ページ)

用語  
解説

一般質問：議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明をもとめ疑問点を質すこと。本町議会の場合、質問時間は答弁を含めて一人60分以内となっている。質問方式は「一問一答方式(時間内で質問・答弁を繰り返す)」です。



ただし  
正 雲 南

**問**

スキー観光の振興対策は

**答**

首都圏のファミリー層をターゲットに展開する

**問** スキー客の減少に歯止めがかからず、基幹産業であるスキー観光の行く末が心配されるが、湯沢観光の原点であるスキー観光を守り、発展させる為の今冬の取り組みは。

**答** 限られた予算の中でより効果的に宣伝効果を上げるために、スキーを楽しむ層が一番多い30代を中心とした首都圏のファミリー層をコアターゲットとして展開する。

**問** 湯沢はスキーのメッカである。シニア層を含みターゲット

を広くして、各スキー場の特性を生かす展開が必要ではないか。

**答** いろいろな情報を確認する中で、数の多い年代をターゲットと考えたが、スキー観光を全体に向けて発信すべきであり、指摘のとおりである。

**問**

アメリカ合衆国  
マグナ訪問による  
国際交流の展開は

**答**

姉妹都市交流を町民の意見を聞いた中で行いたい

**問** 国際姉妹都市提携先としてマグナを決定し7年、80人を超える中学生が派遣され、

今年も町長、議長、総務文教委員長が訪問し、いよいよ姉妹都市提携の時が来たが。

**答** 自らの目でマグナを見て、人々に接する中で、中学生がホームステイを通して語学や国際感覚を養うためには全米といわれる治安の良さや素晴らしい環境が確認できた。姉妹都市としての交流を町民の意見を聞いて行いたい。

**問**

地域と共にある  
学校づくり、  
学校運営協議会の  
設置を

**答**

前向きに考えているが、結論については時間をいただきたい

**問** 平成26年開校の小中一貫教育校の教育方針実現に向けて、地域の人達が学校運営に参画できる学校運営協議会の設立を。

**答** この制度を活用している県内の教育委員会から情報提供を受け、成果と課題を検証している。時間をいただき前向きに考えたい。

**問**

三国三俣地域の  
高校生の  
通学環境の整備を  
早急に

**答**

学校統合を待たずに  
行う必要があるので、  
早急に取り組みたい

**問** 三国地域から高校に通う高校生は登下校時のバスが電車とくまく接続できず、通学先が限定され、保護者の送迎に頼らざるを得ない。交通費にも多額の費用を要し、憲法に保障された勉学の機会均等の精神に反し、多くのハンディが生まれている。三国三俣地域の中学3年生9人が進路を決定する時期が迫っていることから、早急の対策を願いたい。

**答** バスの運行時間については高校の通学に足りるよう早急に申し入れを行う。交通費の出費についても高校生に限定せずこれから充分検討したい。

**問**

越後湯沢  
全国童画展の開催は  
民間の実行委員会で

**答**

文化活動に係る人たちの  
意見を聞きながら、  
今後の運営体制や  
運営形態について検討したい

**問** 16回目を迎える全国童画展の開催が、町の企画運営に移り、実行委員会の組織は運営の手伝いとなっている。生涯学習の目標である「人が育ち、自立する湯沢町民の育成」の実現のためにも、全国童画展開催の企画運営は民間の実行委員会に任せ、町はサポートにまわるべきではないか。

**答(教育長)** 実行委員会の位置づけが不明確であり、委員はボランティアで責任の所在がはっきりしないことから、組織強化のため第11回から町で開催してきた。多くの町民から主体的にかかわり童画展を作り上げることは大事なことで認識し、より良い形になるよう検討したい。





たかはしあやお 高橋綾夫

## 問 湯沢町の観光産業は 何処が牽引するのか

**答** 町と観光協会が連携して  
方向を出していきたい

**問** 昨年の町の観光宣伝費  
約6、700万円を超える予  
算が法人化された湯沢町観光  
協会の宣伝業務補助金として  
計上されていますが、町の産業  
観光課と観光協会の役割分  
担および協働方法を教えて下  
さい。

**答** 町は観光資源の維持管理、  
開発整備及び協会が行う事業へ  
の支援、協会はお客のニーズに合っ  
た商品開発と事業及び宣伝の実  
施と思っております。



**問** 観光宣伝をするには「誰  
に」「何処から」「どんな形で」  
「何時」「何をしに」来ていた  
だかかの具体的な商品企画に  
基づいた宣伝が必要と思いま  
すがどのようにお考えでしょ  
うか。

**答** 産業観光課と観光協会が  
連携して湯沢町観光の方向を出  
していただければと思います。

**問** 民間の事業者や労働者  
は常にリスクを抱えているから  
こそ力を発揮できるんだと思  
います。町観の現場責任者の

報酬は定額所得制ではなく、  
最低保証+成功報酬の形の  
方がいいのではないのでしょうか。

**答** そういう意見もあることを  
伝えまして十分検討して頂く様  
提言していきたいと思えます。

## 問 河川利用者へ海水浴場並の 利便性と安全対策を

**答** 来シーズンに向けて  
真剣に調査、検討をしたい

**問** 湯沢町の清涼な河川を  
楽しむ方が増えている中で、海  
水浴場のように「川遊びエリア」  
をきちんと定めて、公の責任  
範囲とお客様の自己責任の上  
での行動範囲を明確にするこ  
とにより安心、安全を提供し、  
またゲリラ豪雨による急激な  
増水等による人的な被害防止  
の対策が必要と思えますが町  
としての考えをお聞かせ下さ  
い。

**答** エリアの設定等は現段階で  
は考えていませんが河川利用の  
法的な検討と利用者の状況を見  
ながら利便性の向上を図って行  
きたいと思えます。また増水等  
による人的被害防止に対しては限  
られた財源ですが注意喚起の看  
板設置等考えていきたいと思  
います。

**問** お客様が全町内に広がっ  
ている現状よりも、指定エリア  
を設けた方が利便性の向上も

安全対策もとりやすいのでは  
ないでしょうか。

**答** 来シーズンに向けて真剣に  
調査、検討をしたいと思えます。







谷 勉  
や つとむ  
すみ 角

問

スキー客誘致へ、積極的な誘客活動を

答

冬に向けての誘客活動に積極的に取り組む

問 湯沢の資質は、積極的な誘客活動で地域間競争に勝てる。

答 冬に向けての誘客活動に積極的に取り組む。

特別予算2,800万円を計上し、主に家族連れをターゲットにイベントやパブリシティー(無料)広告を活用しタイムリーに効果的に展開する。  
【提言】宣伝広告費が当初予算の2,600万円では少なすぎる。来年度は、22年度の入湯税収入9,600万円位は予算計上すべ

きである。

問 民宿・ペンションを対象としたトップセールスの進捗状況は

答 まだ成果に結びついていないが、東京都のある区に子供達とスキー交流を提案している。今後も積極的にトップセールスを行っていく。

問

観光施設の整備改修を図るべきである

”四季を通じて、また訪れたいなるまちづくり“の重点戦略として、観光客が安全かつ快適に過ごすことができるよう、サイン等の整備改修や観光資源の整備を掲げているが、次の件の見解は。

問 ”花の郷“は雑草だらけで、悪評をかかっている。

答 諸事情により規模は縮小するが多くの人が訪れる場所であり、今後は植栽や草刈を行い、花の郷にふさわしいように景観の向上を図る。

問 大源太湖の遊歩道の案内板が劣化し読み取れない。

答 大源太湖は多くの観光客でにぎあう場所であり遊歩道の整備等行っているがサインや周辺マップの整備を紅葉シーズンまでに改修する。

問 北テニスコートは劣化が激しくプレーに危険な状況にある。

答 中央公園の施設はいずれも経年劣化が激しく計画的に整備する予定である。テニスコートは27年度の予定だがお客様に迷惑がからないよう検討する。

問 ますどまりの利用人数が

8月13日11時から14時まで227人だった。時々10人程度並び、清掃は一度もなく不衛生きわまりなく、観光立町の姿勢が問われている。



▲ますどまり



▶ますどまり仮設トイレ



▲大源太湖案内板



▲劣化テニスコート

答 多くの観光客が自然を楽しむために訪れており。観光地でトイレは大変重要とも考えている。投資対効果を考えれば現状が現実的と考えるが逆に人気落ちないよう、意見を集約し、湯沢の川遊びスポットを全体的に検討し対応する。

問

観光の促進は具体的な対策を戦略的に

問 社会情勢もお客様のニーズも変化している観光の指針「湯沢町観光振興計画」を見直すべきである。

答 この10年で人の価値観も、旅行の形態も変わり、観光の在り方自体が変化しているのでもさに見直しの時期と考え指示をする。

問 法人格を取得した町観光協会の役割は。

答 お客様のニーズの把握や商品開発により湯沢のイメージアップのプロモーションを推進して欲しい。宣伝・広告活動や独自の事業展開により今以上の自主独立の活動を期待する。

## 問 猿・熊・猪対策強化を急げ



お 孝 雄  
し ら い た か  
白 井 孝 雄

**答** 「湯沢町鳥獣被害防止対策協議会」を立ち上げ、  
猟友会によるサルの追い払い巡回、町内会への  
花火の配布、サルの生態調査を行っている



**問** 発信機の取り付けは現在  
どうなっているか

**答** 4匹の捕獲をして取り付  
けようとしたが、子サルとオスザ  
ルのためまだ取り付けには至って  
いない。

**問** もつとスピード感を持って、  
駆除にも力を入れるべきと思  
うが？

**答** 幅広く意見をいただき、他  
町の事例を参考に協議会とよく  
協議し対策をとりたい

**問** ナラ枯れ病等で山にエサ  
がなくなり、里山がなくなり  
サル、クマが人家の近くまで出  
没しているのではと思うが今  
後の対策は。

**答** エリアの整備は大変重要で  
ある。補助制度を利用し積極的  
に森林整備にも力を入れたい。  
ナラ枯れ病対策にも力を入れて  
行きたい。

## 問

### スキー選手の育成に本腰を



## 答

スキーのメッカにふさわしいスキー選手育成に  
今後力を入れてやりたい

**問** スキー選手は大変お金が  
かかり、選手を続ける事が出  
来ない選手が続出している。早  
く環境整備をすべきと思うが。

**答** 現在の組織、予算等、良く  
検討し、誰でもスキーに打ち込め  
る環境を早急に作りたい。

**問** 皆川賢太郎君に次ぐオ  
リンピック選手の育成を！

**答** 何とか2018年ピョンチャ  
ンオリンピックに湯沢町から選手  
が送り出せるようにしたい。町  
民に大きな夢を与えるオリンピッ  
ク選手育成に力を入れたい。



さだ 利 貞  
と し ざわ はん  
は ん 半 澤

問

町営住宅について

問 現在は、建て替えられて

地下に駐車スペースもあり、屋根は自然落下で雪掘りナシ、定年で退職金も頂き、子育て盛りの時は大変であったと思われるが今では、家中で働き低所得者とは思えない！

ひなの気から酒を飲んで固定資産税も払われない応えられねえ…とつぶやいている。

子供二人を一流の大学に入れた卒業して働いている。豊かな生活をしていると言える。

お金を貯めて自分の家を建てた人も何人も知っている。

一生町営住宅に住む気で居られても困ります。

立替えの際には、引っ越しの費用もだしている。最長の住民は何年か？最高年齢者は幾つか。



町営住宅

答 算定見直しの審査を毎年

10月に行っている。所得の多い人

3名には明け渡しを求めている。

25年間住んで居る人・年齢は、

88歳が最高年齢者である。

問 条例に（入居の継承）があり高齢者の子供が介護も予て

東京から帰って同居すれば継承を認めざるを得ない。一生末梢居住されても困るので見直しが必要かと思うがどうか…。

答 公営住宅法に基づき対処したい。

問

旭原の溜め池の有効利用と職員の対応について

問 不用、未利用のため池を

駐車場にと提言してきたが陽の目をみない。40年も前から

底地は湯沢町のものであり、

北陸農政局・新潟県・湯沢町

にも書類がない土地であり、使っ

ても居ない土地の草刈りにお

金を遣い職員は、試算もせず

に進上路に金が埋め立てに

金が…と動かない。

8月15日には、ロープウエー

に3819人も来てくれた。

駐車場は満杯であった。観光

地に駐車場は必須条件で有る。

我々が百辺ものを申ししても

職員は動かない（仕事をしな

ければ失敗がないから・空馬に

怪我無しと言ったことだ）町長

がきちつと示唆する事が必要

である。



旭原 溜め池

答 県は財産処分は可能と言っ

ている。北陸農政局に用途廃止

の事務手続きの必要があると聞

いているが、農林大臣の所にも行っ

て来たいが、用途廃止が可能にな

り湯沢砂防からの埋め立て土砂

を頂いても本体工事・町道改良

に多額の金がかかり早急に積算

して取り組みたい。

問

みどりの会の植樹について

問 今年の植樹についてどのような場所を予定しているか伺います。

答 今年の植樹は6月に旭原ですすでに終わっていますが、まだ植えるスペースが残っており今後も植樹する用地があります。

問 中学校の建設に木材を

利用する事に成っているが観

光地湯沢には、杉の木よりブ

ナ等が相応しいと思う。杉花

粉も困るし保水の意味からし

ても将来湯沢町の財産として

植林に協力して欲しい。

町有林の伐其のきている所

を伐採して木材を使用すれば

建築も安上がりになるし、跡

地にブナを植える事を望むが

どうか？

答 学校にどれだけ必要とす

るか、設計の段階でわからないが

出来るだけ使いたい。町有林地の

把握をしていないが、杉の木以外

の木がふさわしいかどうか検討

して対応したい。





まさもり さとう  
佐藤 守正

**問**

「国保引き下げ請願」の可決という議会の意思を町長はどう受け止めているのか

**答**

国保会計へは一般会計から多額の繰入れをやっている。今年も税率引き上げもやらなかった。これで了解してほしい

**問** 町長その答弁を、町長の立場で直接町民にも報告すべきだ。

**答** 議会で可決した請願に町長としてどう対応するかは、これから検討したい。



**問**

ミニ特養の開設と配食サービス事業者と折衝しては

**答**

話し合う用意はある

**問**

中子で小規模多機能の介護事業をやっている福祉法人は、それと一体的に運営すれば特養開設も可能だと言っている。また同じ法人が六日町の毎日二回の配食サービスは、湯沢でも欲しい事業だ。交渉してもらいたい。

**答**

その事業者とは何回か会っているのですが、このことでも話し合う用意はある。

**問**

町の保育所で働く非正規職員の処遇を改善してほしい

**答**

担当課との打ち合わせをしていないので、あとで答えたい

**問** この非正規職員はどの法令に準拠した雇用か。

**答** 地方公務員法22条の臨時的任用の規定だ。

**問** その法令は一年以内の臨時的雇用に限って許される規定で、十年以上も続くこういう雇用の仕方は許されないはずだ。処遇の改善でこの方々に応えてもらいたい。

**答** 担当課との打ち合わせがないので、今ここでは答えられない。

**問** 非正規職員の給与には昇給や経験加算が無く、何年勤め続けても同じ額が続く。ポーンナスも退職金もない。通勤手当は付くが、その他の手当はない。保育士の資格を持つ人に

正規の職員とほぼ同じ仕事をさせながら、このような差別をする事に心痛まないのか。

**答** 非正規職員はクラス担任をできなかったりで、正規の職員との間には業務の質や量に差がある。したがって雇用条件に差があつてもしかるべきだ。また採用に際しては勤務条件については提示し、納得してもらっている。

**問** 勤務の量や質の差と言うが、それは正規職員との間に

差異を付けるための便法に過ぎず、質的には同じ労働をしているのではないかと。また納得の上での採用と言うが、力関係が対等でない者の間での納得は、納得とは言わない。保育園統合時点で雇い止めになるかもしれないと非正規の方々は心配しているが、どうか。

**答** 統合後も必要に応じて任用する。臨時職員の雇用が無くなるという事はない。



▲中央保育園





とまさの岸 野 雅 人



▲みつまた祭り

問

まちづくり基本条例実践のため、町民と行政の信頼関係をつくれ

職員全体で分担・担当を決め、独居老人世帯・老々介護者世帯などを、訪問した後に登庁し、報告確認をすてはどうか。

答 手いっぱいできない。

役場発注の見積りでは、他市町村の業者との底なしの価格競争があり、町内事業者の「行政への信頼」は損なわれている。入札にあたっては営業所や町民雇用の有無などの条件設定は行なえないか。

問

特色ある教育・文化活動にいかに取り組むか

答 公正公平にやっている。

「雪国」と「北越雪譜」。

小・中学生の朗読や暗唱に、来年度からでも取り組めないか。



答 検討していない。地域の宝探しに取り組む。

学力向上へ、どんな手だてをお考えか。(親学というアプローチもあるが...)

答 姿勢、挨拶、ほめる。教師塾の開催。

現行の各地区の運動会・スキー大会・伝統ある風習・行事などへの今後の参加について確認したい。

みつまた祭りなどは公欠、総合学習として授業扱いにも。職員・教員は、今までのバックアップ体制を。

休日の地区合同開催行事は今後も同様。

問

災害対策、魅力発信等、喫緊の課題。文教施設統合で財政は硬直化しないか

問 昨今の豪雨は、ハザードマップの想定外。特に湯沢では、再調査、防災無線、避難計画と訓練が必要では。

答 県に伝え、できるだけ早く対応したい。

問 向う3年の魅力発信・誘客宣伝・産業育成は重要。2



▲時間雨量65mmで、どうなる?

億円程度を3年間増額など、取り組めないか。

答 千載一遇の好機だが、お金をかけぬよう考えている。

問 財政の硬直化が心配。中学校以外は急がず、町民の生命・財産・経済活動を守ることが優先すべきでは。

答 安心安全な教育、遅らせない。

問 役場庁舎の安全性は。

答 来年度の耐震補強を検討。



もろ た たもつ  
師 田 保

**問** 二居スキー場跡地の防災対策を

**答** 早急に対策を考えたい

**問** 二居スキー場跡地の階段切部分は降雨のたびに土砂が流され、いづれ防災対策の効力が失われることが心配されます。災害を未然に防ぐためにも、階段切部分に芝生等による緑化が必要と思われるが。

**答** 雪崩の危険性から階段切をして今後の対応を考えていたが、担当の部署が東日本大震災の対応に追われて間に合わなかった。早急に対応を考えたい。



▶ 二居スキー場跡地

**問**

町営温泉共同浴場に防犯カメラの設置を

**答**

試験的に2カ所の共同浴場に設置したい

**問** 犯罪を未然に防ぎ安心安全な観光の町PRのためにも、利用者が安心して、湯沢の外湯巡りを楽しめるよう町営温泉浴場に防犯カメラの設置が必要と思うが。

**答** 共同浴場での盗難事故は東日本大震災以後増加傾向にある。貴重品ロッカー設置とあわせて2カ所の浴場入り口に盗難事故抑止的観点から監視カメラを設置して様子を見たい。

**問**

国道17号線の三俣、三国峠間のセンターライン整備を

**答**

三国、三俣間のセンターラインは近日中に引かれる予定

**問** 国道17号線の三俣三国方面には、センターラインが消えかかっている部分や、すでに無くなっている部分が多くある。センターラインが判別できない道路は危険が伴い、事故につながることも想定される。早急にセンターラインを設置し安全安心な道路環境の整備を国道事務所に働きかける必要があると思うが。

**答** 問い合わせたなら、発注済みであり、順番に実施される予定であるということであったが、今後管轄外であっても気の付いた点は意見要望を積極的に出していく。

**問**

有害鳥獣駆除体制の充実を

**答**

町鳥獣被害防止対策協議会を通じて対策を検討したい

**問** 猿、熊、猪等の農作物被害に対して、町猟友会がその対策にあたり成果をあげているが、現実には町猟友会の高齢化等により会員が減少し非常に厳しい状況にある。農作物等の被害防止対策に対する有害鳥獣駆除体制の充実に向けた町の支援、協力が必要であるが、今後の対応は。

**答** 有害鳥獣駆除対策に猟友会は欠かせない存在であり、国県も後継者育成に取り組んでいる。今年設立された湯沢町鳥獣被害防止対策協議会を通じて、今後の対応を検討し、駆除許可についても猟友会が充分に動けるように検討したい。



みやた まりこ  
宮田 真理子



南三陸町

**問** 6月の末に都合がついた議員で3・11の被災地である南三陸町、石巻市、東松島市を視察してまいりました。荒地、腐敗臭、瓦礫、言葉に表せない

ほど、悲惨な状況でした。復興には、相当な年月がかかることでしょう。

湯沢町は、中越地震や、3・11でもそう大きな被害がなく、よかつたと感じています。しかしながら、もし湯沢に想像もできない程の災害が起こったらどうでしょうか。

南三陸の危機管理課の女性職員の遠藤美希さんが波にのまれるまで、町民に危険を知らせるアナウンスをしていらつしやいました。

湯沢町には、その危険を知らせるシステムがないのです。湯沢町には、112箇所の土砂災害危険箇所があり、内65箇所が土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域に指定されています。また、その内52箇所が特別警戒区域です。防災ネットワークシステムを

導入することで、町民に、速やかに危険を知らせる事ができ、また、ピンポイントで危険地域に知らせる事ができる様になります。

サイレンだけでは、事がたりません。情報不足に町民は右往左往するのです。

携帯電話のエリアメールも、お年寄り等携帯電話を持たない人には何の役にもたちません。町民の生命を守る事が町長のお役目かと思えます。危機管理についての現状と、今後の手立てを伺います。

**答** 湯沢は今回の台風12号で起こったような災害が、予想されるのではないかと思っています。また、それ以上のが起こったら厳しいなと思います。災害に関する事前の情報、危険地域に対して周知、避難等に必要な備蓄

品等が必要であります。

大規模な災害の周知手法の整備については、これはと言い切れない所であり、ハザードマップを、町民の皆様にご覧いただき、早いうちに避難訓練をしないでいけません。

自主防災組織の訓練等の整備、役場組織の災害対応の訓練が必要であると考えています。

今の状況のなかで、現実的に住民に情報が伝わらないというのは確かです。エリアメー

ルで斉配信できるようになりまして、24年3月にはau、ソフトバンク、も追従するということが可能です。

町民の生命を守ることが私の仕事であり、役場職員の仕事だと充分認識しています。

資料を(防災ネットワークシステム)いただいたうえで、前向きに検討いたします。



**問** 町民の安心安全を守るために、防災ネットワークシステムの整備を

**答**

資料をもらったうえで、前向きに検討する



# 全員協議会

平成23年9月20日

9月議会最終日(20日)に議員協議会を開き以下の事を調査しました。

## 1 湯沢高原スキー場について

湯沢高原の経営を委託している日本リフトの子会社・スノーリゾートサービス株式会社(SRS)との契約更新に向け、町に提出さ

れている「再整備事業提案書」についてSRSの説明と町としての考えを聞き調査しました。

### SRS提案について

町有財産である施設を安全、健全に運営し観光振興に貢献できるように、次の提案をさせていただきます。

#### A 索道施設及びゲレンデの再整備

トリプルリフト架け替え他  
5件 8億5,462万円  
(高原トリプル、ボブスレー、大峰ペアリフト、ミニケーブル等)

B アルプの里リニューアル  
植栽整備他2件 1億円  
C 建物等諸施設の再整備  
ロープウェイ建物改修等  
1億4,583万円

#### D その他

布場駐車場の建設 5,000万円  
道路、遊具等補修 4,060万円

合計 11億9,105万円  
\*施設料(4,200万円)及び土地代(町有地354万円、民有地2,038万円)合計6,592万円を累積赤字解消まで無料に  
\*布場ゲレンデは廃止

### SRSへの質問

**問** ガーラスキー場が新幹線・リフト券・レンタル割引をパックで6,700円で販売しているが、隣接スキー場としてどう思うか。

**答** 価格ではたちうちできないが、ガーラが活性化すれば湯沢高原も活性化すると考える。

**問** 4年前の契約時、経営は大丈夫とあったが、5年で契約変更希望。5年先、10年先経営は大丈夫なのか。

**答** 4年前の契約時、建物やリフトの細かい調査が出来る状況でなく、まずやって欲しい、後は話し合いでなんとかするということだった。  
1億数千万の赤字であり、このまま自社でやっていくのは不可能である。

所有者は町であり、設備投資と施設管理は町でやって欲しい。

**問** 4年前、布場スキー場があるなかで町営時代の営業数値を精査し、採算が合うと判断し手を上げたのではないか。

**答** たしかにそうです。当初は乗降率や人件費等を精査し、なんとかなると判断しましたが、現実には中越沖地震や今冬の豪雪・地震等により、極端にお客様が減っており、累積赤字が1億2千万円である。再契約のこの時期に再整備計画をお願いしている。

予測していたが、大震災により2,000万円の赤字になったとのこと。いきなり10億の再整備計画の提案は唐突に感ずる。

**答** 県内外に広告宣伝を行ったたり、山頂に足湯を作ったり、精一杯、経営努力を行ったがこの状況なんです。

町の施設は重要な観光資源であり、本来なら町で再整備計画を考えるべきだと思います。安全を守りながらやってきたが、お手上げ状態である。ご理解をお願いしたい。

**問** もし、全ての施設を差し上げたとしたら事業展開が可能かどうか伺いたい。

**答** 非常に困難なことだと思います。

### SRS提案に対する町の考え

大峰ゲレンデペアリフト(1億8,235万円)及びミニケーブル(9,650万円)の新設は実施困難。それ以外は財政状況を考えながら検討した上で、出来る事と出来ない事を精査しSRSと再契約をしたい。

### 町の考えに対する質疑

**問** 人件費を含めた経費削減と民間のノウハウで結果を出していただく為に民間委託したと思



▲湯沢高原ロープウェー

います。その民間の力の源はリスクを抱えるところにあると思うが、そのリスクを町が取り払ってあげて本当に結果が出せると思うか。

**答** 民間活力を考えると随分頑張っていると思いますし、町の施設であり信用力のある会社に任せなければ、町民の理解が得られないという思いからSRSSにお願いすべきと考えています。

**問** 布場スキー場は諦めるのか。

**答** 現状ではやむをえないと思っています。

**問** 湯沢町の観光産業が大きく変わる転換期における契約更新です。「まちづくり基本条例」に沿ってどう町民に公開し、声を聞くのか？

**答** 広報等で状況報告は発信しなければならぬと思う。

**問** 多額の要求を伴う契約更新で、住民の意向を聞かずに決めていいのか？

**答** 今は提案であり要求ではない。町も提案が全部出来るとは思っていない。内部と町民代表と相談して決めたい。

※この問題については10月中旬に再度議員協議会を開催するこ

とになった。

## 2 総合文教施設整備の概要について

現在までの経過及び変更内容と今後の予定について町の説明を聞き調査しました。

建物全体の面積が交流施設・体育館・屋内プール等の新設により約3,000㎡増加し事業費が約3億円増える予定である。

### 主な質疑

**問** 小・中一一体型校舎の設計はどうなるのか。どこまで進んでいるのか。

**答** 基本設計にパブリックコメントをもとめ、同時に学校の教職員や保育所の職員と図面について打ち合わせしている。今後文教施設整備委員会で検討してゆき、町民にもお知らせする。

**問** パブリックコメントでの意見の対応はどうするのか。

**答** 三つの委員会の意見をいただいている段階であり、終了したら公表する予定である。

**問** パブリックコメントの回答では、面積が1,000㎡増えたので3億円増加したということだったが、増加面積は3,000

㎡なのか。また、当初は屋内プールは予定されていなく、新たに設置されたのか。

**答** 面積が1,000㎡増えて3億円増加することは、昨年10月に説明している。今回、交流施設の設置や屋内プールの設置により上屋や機械室が増えてきて約3,000㎡の増加となった。面積が増えていくが、坪当たり建築費が下がってきていることもあり、総事業費の41億円は変わらない。

**問** 今月開かれた二つの分科会でも、可動床式のプールの是非が議論されたが、費用は通常の2倍とのことだが、おおよそいくらかかるのか。

**答** 概算で1億7千万円から2億円くらいである。

**問** 可動床式は2倍の費用がかかる。教育分科会でも他の方法でもよいという意見が出ていた。また、一般町民の開放は考えているのか。

**答** 教育分科会でも大きな議論があった。小中が共用で使うので、可動床式でないと教職員が対応出来ない。

町民での開放は分科会でさらに検討する。

**問** 既存の50㎡プールはどうするのか。

**答** 安全上の問題から残土で埋め戻し、駐車場としての活用を考えている。

## 3 その他について

スキー場振興協議会から提出された借地料の減額要望書について平成23年4月1日から2年間30%を減額する案を議会承認。12月議会に変更契約の同意を求める。

湯沢町暴力団排除条例(案)について説明を受ける。



▲傍聴席

### 用語解説

**パブリックコメント：**  
町民の意見を反映させよりよい行政を目指すため、規則など定める前に、意見を聴取すること。

# 議員表決結果報告 23年7月臨時議会・9月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・棄権＝棄）議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	岸野雅人	高橋綾夫	角谷勉	白井孝雄	関忠夫	宮田眞理子	南雲正	今村定一	佐藤守正	半澤利貞	師田保
町 長 提 出 会	7月臨時会 旧湯沢高校解体工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロータリ除雪車(2.2m級)購入契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度一般会計補正予算(第4号)について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病院運営審議会委員の委嘱について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	欠	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○
	湯沢町学校給食施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度一般会計補正予算(第6号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月定例会 平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度下水道特別会計補正予算(第1号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度一般会計補正予算(第7号)について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度一般会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	平成22年度国民健康保険特別会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度老人保健特別会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度後期高齢者医療特別会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度介護保険特別会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度下水道特別会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度水道事業会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度病院事業会計決算について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請 願 等 会	9月定例会 拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書採択の陳情について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことを求める請願について	可	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退をもとめる意見書提出に関する請願について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 提 出 会	9月定例会 「郵政改革法案」の早期成立に関する請願について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度の法制化を求める意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消費税の増税を行わないことをもとめる意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 提 出 会	自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「郵政改革法案」の速やかな成立を求める意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



# 視 察 報 告

## 米国ユタ州ソルトレイク郡 マグナを訪問して

総務文教常任委員長 今村定一

平成23年8月4日中学生（14名）のマグナ訪問に合わせ町長・議長の行政訪問に担当委員会の長として同行の機会を得ました。

同日16時15分成田発（直行）ソルトレイクシティ着で訪問。機上からの町並みは整然と整えられており茶色い山が目に入りました。

空港では入国審査に手間取りながらも無事に到着。空港には受け入れスタッフのピアスさん、シュルツさんらが出迎えてくれました。

用意して頂いた車で生徒たちと別れてそれぞれの予定の行動に移動。これまでの交流の経緯を私たち以上に理解をされ親密さを示しての対応に頭の下がる思いでした。

### 〈訪問2日目〉

2日目に今回の主目的であるソルトレイクシティ郡長ピーター・クルーン氏との姉妹都市締結への会談をいたしました。参加生徒も同行しての庁舎表敬訪問。郡長室に案内され、記念品交換もあり和やかな雰囲気での会談となりました。

郡長さんの穏やかな雰囲気とやさしい語り口、これまでの交流の意義と今後の継続を話されました。その場には郡の議長さんも同席されていました。町長が訪問の対応などに謝辞を述べられ、今後の交流について話されました。

会談の中で町長は、新しい文教施設が出来た時点でお招きしたいと話されたが、郡長さんの残任期間も後1年半ほど、次なるステップに向けて郡長立候補は考えていないことを知り、現在のトップ間での姉妹都市締結の実現を目指すことが望ましいと思います。

### 〈訪問3日目〉

3日目は夏季利用でも好評なスキーマ場を案内していただきました。グリーンシーズンは日本と同様、避暑地としても地域がら狩猟も釣りも盛んな所で、休日はお客様が多いそうです。

私達が訪ねた際も川沿いには多くの車が停車していました。山の自然岩や木々の美しさも抜群の景観です。目的地の周辺には湖があり、湖畔を二

周できるように整備され、多くの人が散策していました。山には残雪があり空の青さと木々の緑が一層美しく映えていました。

お国柄なのか人柄なのか宛に角オープンでおおらかで、終始和やかな時間を過ごす事が出来ました。これも今までの交流で深めた信頼によるものと確信いたしました。

この度の訪問で今後の湯沢町民とマグナ市民が、学生同様に交流しあえる事を願いつつ、町として議会として町民の理解を得られるように、一層の努力を図り、来年の姉妹都市締結に思いを馳せながら報告いたします。



男子のホームステイ先家庭

## 議会に 一言!!

前の議会は20人の議員の集団が議会でした。20人の個性の持った議員と、違った分野の知識を持った議員の集団が議会でしたが、今は12人の議員であります。町の予算規模が当時の6割と考えると、12人は妥当なのかも知れませんが、今議員に要求される事は、前以上に多種、多義に渡っています。予想もしなかった災害が発生しています。湯沢町として、議会としてどう向き合っていくのか、難しい時代に入り、議員の役割と責任も大きくなっているのではないのでしょうか。

町民の前で主張された

事は、実行されていますか。実現する為の行動をされていますか。議員の資質が議会の資質、町民資質と評価されます。

議員の年金制度も変わり、「せめて3期は」の町民意識も変わるはず。次回の選挙で票を獲得する為の行動でなく、議員としての役割を果たす4年間にしたいものです。（50代・男性）

この人に会いました



田平貞夫 さん  
(岩原)

私たちの町に世界に誇る鉄人がいました。現在、78歳、福岡から湯沢に移り住んだ、田平貞夫さんです。走ることが大好きになり、新潟県ではNo.1。日本代表としてアジアでいや世界で大活躍しています。湯沢町も高齢化率が30%を越えました。ジョギングでもはじめてみましょうか。

が、「ヤッパリ、湯沢が良かった」と、湯沢町に帰って来ました。

湯沢町は空気が美味しい、水が美味しい、米が美味しい、お酒が美味しい、上海から来たとき、特にそう感じました。又、地形が良い、岩原の中腹までの坂道が良い。大源太川沿いのマ

イナスイオン豊富な町道のジョギング・コースが良い。そのおかげで、75歳の全日本800メートル優勝、76歳の国際大会銀1個銅2個、77歳のアジア大会金3個銀2個、78歳の世界大会で銅1個のメダルを頂きました。全て岩原の坂道と大源太川沿いロードのおかげと感謝しています。

長崎弁で言えば「湯沢は良か、良か、湯沢は良か。こんげん良か町ちゃ、えつと無かはい。」と言うことで、湯沢町の人と土地に感謝、感謝で暮らしています。

湯沢町「走ろうよ会」にも加入し、「コスモスマラソン」の前身の「岩原クロスカントリー」も走りました。3年間の湯沢暮らしも退屈になり、東京の板橋と品川で4年間生活し、暖かい所が良いかと考え、伊豆の伊東市のマンションを購入、2年間暮らしました。



追跡レポート 第1回

あの提言は どうなるの？

これまでの質疑の中から一部を取り上げ、その後の経過を追跡してみました。

佐藤守正議員の質問

町民参加条例を制定すべきだ

問 町民の行政参加・協働のためには徹底した情報公開が必要だ。そのためには自治基本条例あるいは町民参加条例を制定すべきだ。

答 町民の行政参加の権利と責任を担保する条例を、次の議会への提案を目指して準備中である。

実施結果

- 平成23年3月議会にて「湯沢町まちづくり基本条例」が成立
  - その後
    - ①「平成23年度予算の概要・今年のお金の使い道」が全戸に配布(5月)され、町も積極的に行政情報の開示をしようとする姿勢がうかがえる。
    - ②「湯沢町パブリックコメント手続き要綱」が制定された。
- これは町の基本的な計画等を立案する段階で、広く町民から意見を募集し、有益な意見を考慮して計画等の意思決定を行った後、意見に対する考え方を公表する一連の手続きです。

編集後記

「節電の夏」暑さ対策は大丈夫でしたでしょうか？ 議会だよりは今回から町民の声町村議会広報研修会を経て、大改革する事になりました。違いに気が付いていただけでしたでしょうか？ まだまだ道半ばですが、「読みやすい」議会だよりを目指して、これからの改革をしてゆく予定です。

編集

湯沢町議会広報常任委員会

- 広報委員会 白井孝雄
- 広報委員長 角谷 勉
- 副委員長 白井孝雄
- 岸野雅人・橋綾夫・関 忠夫・宮田眞理子